



春 季 例 祭

香 雲

発行所

〒010-0946

秋田市川尻総社町14-6

総社神社

<http://sosha-j.jp>

リオオリンピックに思う

総社神社 宮司 川尻 孝紀

今年夏、四

年に一度の世

界最大イベン

ト平和の祭典



といわれるオリンピックがブラジルのリオで開催されました。今回のテーマは、民族、文化、宗教など多様性を認め合う社会の実現でした。多民族国家のブラジルらしいテーマです。

今回のオリンピックでの日本選手活躍はすばらしいものでした。世界トップアスリートの競技は世界中の人々に感動を与えました。

一方、世界は国家内戦やテロリズムにより、弱者の犠牲が後を絶ちません。国家間の秩序も危うさをはらんできています。

「戦争と平和」は永遠のテーマといわれますが、戦争も平和も一方的な継続にはなってきました。どちらも現実的な知恵と努力が必要です。思うようにならないの

つもの現実です。オリンピックの理念がその平和の祈りを実現するために営まれてきたことは勿論賞賛に値すると思います。しかし一方で自国の国威発揚や利益のみしか考えない国家やアスリートが増加したならオリンピック開催の意義は消滅するでしょう。その表れの一端がドーピング問題です。勝つためには何でもありの我儘はもちろん通じません。

国家の歴史も「秩序」「調和」「統一」のバランスが崩れた時混乱の時代を迎えます。今一度、平和の時に戦争を考え、戦乱の時に平和を考える基本を思い起こす事が大切だと思います。

最後にもうひとつ気になった事があります。オリンピックの応援で国旗に寄せ書きしている国は日本だけです。色紙感覚で心を込めているのでしょうか、国歌や国旗は民族の共有であり、個人のものではありません。聖なる国家民族の象徴としても一度このことを考えて見る必要を感じました。

今年の祭礼行事曆

平成二十八年元日～九月

特攻隊慰霊祭・祈念植樹

蝗除祭^{むしよけさい}

二日 秋篠宮殿下お見送り

九日 秋田空港

十九日 第四回境内清掃

二十三日 月次祭

青年会例会



十月以降の祭礼行事予定

十月

六日 三遊亭栄楽落語会

八日 第七回境内清掃

十八日 秋季例祭宵宮祭

十九日 秋季例祭当日祭

十一月

十二日 第八回境内清掃

十五日 七五三参り

十九日 月次祭

下旬 干支大絵馬揮毫

十二月

第一日曜 干支大絵馬奉納式

下旬 煤払い

十九日 月次祭

神社大忘年会

二十八日 餅つき行事

同青年会・敬神婦人会

奉仕

大晦日 師走大祓式

五月

二日 神社総代会総会

十四日 第二回境内清掃

十五日 春季例祭準備作業

十七日 敬神婦人会清掃奉仕

敬神婦人会総会

十八日 春季例祭宵宮祭

十九日 春季例祭当日祭

二十日 片付け作業

六月

三日 川尻小学校ふるさと

学習(雅楽演奏)

四日 氏青東北大会 青森市

五日 秋田県鳶土木連合会安

全祈願祭(纏振り・梯子

乗り奉納)

十一日 第三回境内清掃

十八日 青年会例会

十九日 月次祭

鹿島祭り(西表町・昆沙

門町・肝煎町)

二十五日 第二十一回刑務所安全

祈願祭(秋田刑務所)

三十日 夏越の大祓式

七月

一日 川尻内堰組合虫祭講中

一月

元旦 歳旦祭

十一日 (成人の日)どんと祭

敬神婦人会鏡餅つき

行事奉仕

十七日 ブラウブリッツ秋田

必勝祈願祭

青年会新年会 丸源

十九日 月次祭

二月

三日 節分祭豆まき神事

十一日 建国記念の日

奉祝秋田県大会

十九日 祈年祭併せ月次祭

三月

十九日 月次祭

四月

二日 境内清掃 打合せ会

九日 第一回境内清掃

崇敬会理事会

十六日 青年会総会

十九日 月次祭・崇敬会総会

二十四日 ボーイスカウト秋田

第二十五回秋田県出身

二十九日

私の歴史探訪 香雲にきく豊桜彦のこと



総社神社責任役員
廣嶋 禮治

総社神社は神亀元年（七二四）創祀とされています。時の聖武天皇の都は、奈良の平城京です。天皇は度々国替えをされ、恭仁京（現京都・木津川市）、紫香樂京（現滋賀県甲賀市）、難波京（現大阪市中央区）と転々とした後、再び平城京へと戻されました。

当時の平城京の人口は約十万人です。律令制の中、平民の中でも特に農民に目を向けると六歳以上になると田畑が与えられました。しかし農作物などの収穫から最低限の生活は保障されましたが、税や労役におわれる外、一汁一菜の苦しく貧しい暮らしぶりでした。

その中、村人の一番の楽しみは春秋のお祭りでした。春に村の安泰と五穀豊穡を願い、秋には収穫に感謝して、産土神社で分相応ながら賑やかに

に行われました。時は現在に至っても産土神社・氏神社では氏子の安泰と地域の発展を願う心の基となっています。

昭和初期まで総社神社の境内には、香雲亭というお館が在ったといわれています。香雲の名に恥じない桜の花が、雲のように咲き誇り、人々の心にうるおいと希望を与えていました。

いにしえの聖武天皇の尊号は「天璽国押開豊桜彦天皇」と称されました。一千三百年近い昔から、この豊かな桜が境内に連綿と咲き及んでいる「香雲」を想う時、驚きと感動の念でいっぱいになります。



靖國神社 他敬神の旅に参加して



総社神社総代
安藤 進

昨年の十一月、大東亜戦争終結七十年を記念して行われた総社神社総代会・青年会の敬神旅行に参加しました。足腰が儘ならず歩行に苦しんだこともありましたが、同行の方々の心遣いに癒され、いずれも初参詣の神社の歴史の重厚さと神道の真髄を知らされたような、実に密度の濃い、忘れ得ぬ貴重な旅でした。

一日目のコースは都内の靖國神社・明治神宮・浅草寺に加えて東京スカイツリーなど。

靖國神社は、明治維新時から第二次世界大戦までに国事（戦争）に倒れた人、約二百三十万人（女子挺身隊員・看護婦を含む）の霊を合祀しており、一般人は入れない本殿での正式参拝でした。

夕食会場の浅草「駒形どぜう」には、崇敬会顧問の金田勝年さん（現

法務大臣）の事務所の方（二人）も参加され、子供の頃の泥臭い川尻の「どじょう」とは全く違う、とろける骨抜のような「どじょう」を食べ尽くしました。

二日目は埼玉県の高麗神社の正式参拝と川越の散策。高麗神社は朝鮮から移住してきた高麗（高句麗）人の創建によるもので、日朝友好の証を見た思いでした。そして、川尻宮司のご子息の国広さんがここで神職として励んでいるのを知り、この度のスケールの大きさと身近さを改めて認識させられました。

最後の川越散策は、足の痛みで駅止まりでしたが、これも旅の様の一つ。次の旅を楽しみにしております。



靖國神社にて

青年会の活動について



総社神社青年会長

佐藤 一

全国氏子青年協議会綱領

われら青年の総力を結集して次の三条を実践しよう

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、まことの生活をうちたてよう

一、和の心をもってむつみ合い、清らかな郷土をつくろう

一、国と民族の自覚に立って、世界の平和の力となろう

右の綱領は、わが総社神社青年会が所属する秋田県氏子青年連合会が加盟している全国組織のものであります。この綱領の精神に基づき、地域の繁栄と調和に寄与することを目的としています。

さて、我々総社神社青年会は、二十八名の会員があり、神社の祭祀や行事を中心に月例会を開催し、情報交換と更なる親睦を深めており

ます。その他、全国や東北の氏子青年会、さらには、神社庁の諸行事や地域行事にも助成参加しています。

また、会員の趣味同好会を活用し季節感のある親睦交流を基本にして地域の絆と社会奉仕で頑張っています。

私どもと共に青年会の活動を通じて祭祀行事に参加・協力する若い力をいつでも募集しております。興味ある方、是非お問い合わせ下さい。お待ちしております。

総社神社 敬神婦人会の活動



総社神社
敬神婦人会長
伊藤 武子

この度、総社神社発行の社報「香雲」第三号に伴う原稿依頼がありまして、私たちの活動を紹介出来る機会を頂き、会の当初より関わらせて頂いた事もありまして、格別な思いで原稿に向かつております。

現在会員は七〇名程ですが、毎

年行われます春秋の例祭や年末に備え、室内の清掃奉仕、年末の餅つき、新しい年明けのどんと祭のお手伝い、国旗小旗作成奉仕など、通年の事業は会員の積極的なご協力のもと、滞ることなく行っておりまして。

その他で単独事業として、二十年前より行っている秋季例祭宵宮の出店ですが、いつかこの地域より巣立って行くであろう子供たちの思い出作りにと考え、始めました。

暖かい家族の元から離れ、初めて知る戸惑いや孤独感に合った時、宵宮の出店の様子を思い出して、気持ちの切り替えになればと思いつきながら「子供たちの思い出作り」を合い言葉に初代金田龍子会長と共に長い年月続けてこられたと思っております。

また、その言葉から私たち自身多くの事を学ばせて頂いている事に気づかされました。何もかもが初めてで、大変な事ばかりでした。

その中でも一番大変であったのが、秋祭りでした。当日の天候が台風や雨で中止になる様な事になる

と、仕入れた材料、鉄板その他のリース代など支払いの事などを考え、大変な事業を始めたものだと思います。

その時から自然災害とは言っても、人に迷惑をかけたり、子供たちの思い出作りを駄目にしてはならないと心に決め、様々な事態に備えを怠ることなく、強い気持ちで取り組みできたつもりです。

近年会員も高齢化が進む中、これを見かねて、ボーイスカウト指導者の方々、又、神社青年部の方たちの心強い応援にとっても感謝致しております。

私たち会員は、ここ二十数年一度も慰労会の様な事もなかったもので、この辺で、ひと息ついていいのかなと思っております。

長い間、ここまでやってこられたのも、宮司さんはじめ皆様の暖かいご協力のおかげと、感謝の気持ちでいっぱいでございます。ありがとうございます。



総社神社街区公園愛護 協力会の活動について



事務局長
碓屋 隆志

総社神社街区公園愛護協力会（以下「協力会」という）が何時設立されたのか定かではありませんが、総社神社街区公園の設立が昭和四十三年三月三十日となっていることから、それ以後の設立と思われるます。

川尻・山王地区のシンボルである総社神社に隣接して街区公園があり、その広さは約八二五〇平方メートルで、植栽されている樹木は約百二十本あり、ほとんどがケヤキなどの落葉樹で古木が多く、四季を通じて落葉、枯れ枝の落下があり、これら进行处理するための清掃活動を主体として協力会が結成されたものと思います。

活動としては、総社神社をきれいにする会、総社神社氏子崇敬会と協力し街区公園とそれに隣接する神社境内及び周辺地域の美化・清掃奉

仕などを行っています。

四月～十一月までの第二土曜日を清掃日として、毎回約五十人の地区住民が参加し、落ち葉・枯れ枝の処理、除草に従事しています。

川尻地区町内会連合会の事務局長に在任中、連合会会長で協力会の会長でもあった故伊藤信夫さんと諮り、秋田市地域づくり交付金の申請を行い

リヤカー 二台

エンジンチェンソー 一台

エンジンブロワー 一台

草刈機 二台

一輪車 二台

を整備することができ境内の保管庫に収納しています。リヤカーは災害時にも利用できることを想定し整備しました。

協力会の経費は、秋田市から毎年交付される公園愛護協力会報償金で運営しています。清掃用具の整備、年二回開催される懇親会の助成などに充てています。

協力会の役員は次のとおりです（敬称略）。

会長 佐藤三郎

副会長 大友峰廣

〃 近江友春

事務局長 佐藤昭弘

事務局次長 碓屋隆志

会計監査 野田安雄

〃 石田達郎

会則も整備し、毎年四月に開催される総会で決算・予算の審議も行っています。

朝六時に神社境内に集まりラジオ体操をした後に、神社参拝を行って爽やかな気持ちで清掃することにより身も心も洗われます。皆さん神社・公園清掃に参加してみたいかがでしょうか。

私事になりますが、街区公園開設時には現役で神社行事に参加することはなく、平成十八年に町内会長に就いてから神社活動に参加することになり、さらに協力会の運営に携わり多くの知己を得ることができました。これも神様からの贈り物と感謝する日々です。



第5回北海道・東北ブロック 野営大会協力会の活動について



野営管理班
三浦 仁

四年前の前回大会後、子供たちと来県された福島県の増子理事長が大会長となり、関係者五五〇名、内秋田県関係者三十名、我が31団から十三名が参加して、七月二十八日～八月一日の日程で猪苗代湖天神浜を会場に七道県や湘南地区からの参加スカウトたちと第5回大会（以下HTC）に奉仕して参りました。

秋田派遣スカウトは、大会期間中様々なプログラムに参加し、たくさん野営スキルやスカウト精神を体得して帰りました。また、奉仕隊として当団のベンチャースカウト阿部君は輸送班に配属され、連日の猛暑の中、来場車両の誘導に専念しておりました。

私の5HTCは前回大会同様に野営管理班に所属し参加スカウト



秋田派遣隊スカウト

たちの安全な環境づくりと湖水浴の保安、深夜の巡回警備、仮設電源の運転管理、資材調達、更に自衛隊が設営した仮設風呂の時間割など多岐に及び充実した野営でした。

ある日の深夜、国道を歩くスカウトがいるとの連絡により、車を走らせたら奉仕で参加した大学生スカウトの身勝手な行動と判明、その後、彼らが野営管理班を謝罪訪問したことで私の一日が終わりました。

我々の食事は自衛隊が調理してくれますが昼食だけはスカウト同

様パンなどの配給です。ここで私の出番、猛暑日の昼食は配給に頼らず、キンキンに冷えたソーメンや蕎麦にネバネバの薬味たっぷりです。ズルズル、頭を上げると部外者もズルズル。こうして野営管理班は結束と信頼を高め、仕事に向かいます。

会場が湖畔のため、派遣隊のトラックに私のヨットを積んでもらい、非公式な野営管理班提供、プログラムとして3日間、自衛隊員やスカウトなど関係者多数にヨットを体験していただきました。ヨットも野営管理班の安全監視に一役買い、想定外の好評でした。

こうして、スカウトや指導者、奉仕員が安全に楽しく過ごせたのも総社神社を拠点とする31団に所属していたからと深く感謝申し上げます。報告とさせていただきます。



ヨットクルージング

香 雲 文 芸

平成二十八年
小中学生児童生徒による
総社の杜俳句・川柳大会入賞作

☆優 秀

伝統と歴史が残る総社の杜

総社の木雅楽とせみのコンクール

せみの声大樹の陰が憩いの場

暑き日に蝉に夏だと教えられ

夏の夜綺麗に咲いた花火散る

初もうで総社の神が笑みこぼす

夏祭り木もおどらずにいられない

神様がおどりはじめる夏祭り

葉が茂る総社の森は憩いの場

総社の夜せんこう花火でしめくくる

風りんや風にうたれて鳴いている

雄物川夏の夜空に花火咲く

虫たちが合唱してる秋の夜

秋近し木も衣替えカラフルに

秋の色月が大きい手がとどく

(山王中一年 大澤 愛子)

(山王中一年 黒澤 湜)

(山王中一年 杉山 里凜)

(山王中一年 夏井 貴矢)

(山王中一年 佐藤 隼)

(川尻小五年 佐々木智那)

(川尻小五年 木元 成実)

(川尻小五年 石川 雅輝)

(川尻小六年 瀬下 海斗)

(川尻小六年 長谷川健大)

(旭南小五年 近藤 悠羅)

(旭南小六年 猪本 紗希)

(旭南小六年 伊藤 大惺)

(旭南小五年 相場たかよ)

(旭南小五年 勝見 結依)

以上十五句

☆佳作

真夏日に耳に響くよ蟬の声

(山王中一年 石井 学人)

蟬が鳴く総社の杜で夕涼み

(山王中一年 増村 来未)

風の音総社の杜からおくりもの

(山王中一年 鈴木 桃彩)

ざんなんと涼しい樹木がお出むかえ

(山王中一年 畠山 叶)

総社の夏セミが鳴くほど暑いです

(山王中一年 佐藤 勇翔)

総社にはおもしろい木がいっぱいだ

(川尻小五年 松浦龍之介)

総社の木川尻町のシンボルだ

(川尻小五年 中林 勇貴)

新緑の木々は神のおくりもの

(川尻小六年 太田 薫乃)

総社の木緑すべてが宝物

(川尻小六年 熊谷 至温)

夏休み今日も総社で遊ぶ子ら

(川尻小六年 三浦優輝哉)

花火上げ空で仲よし遊んでる

(旭南小五年 鎗目 麟)

花火だよ思い出だんどん作ろうよ

(旭南小五年 菅原 雄大)

総社から秋のしらせがやってくる

(旭南小六年 湊 彩美)

総社の木夏のすずしさかもしだす

(旭南小六年 岡部 大樹)

秋風が総社の木たちをおどらせる

(旭南小六年 柏木 榮太)

氷原帯秋田支社長 企画同人 菅原孤秋 選
以上十五句

全応募作品四一二点から優秀作十五句・佳作十五句を本紙上に発表掲載致しました。

今年には山王中学校からも応募参加をいただき、さらに充実した大会となりました。児童・生徒の瑞々しい感性が光る素晴らしい作品がそろいました。地域の多くの皆様にご鑑賞いただけましたら幸いに存じます。

第五十六代宮司 川尻孝紀氏 神職身分二級上昇進祝賀会



二級上正服

昨年(平成二十七年)の十一月二十六日、「ルポールみずほ」を会場に総社神社宮司川尻孝紀氏の神職身分「二級上」昇進を祝う会が開催されました。

当日は、秋田県神社庁長面山浩康様をはじめ、日頃お世話になっている他社の神職の皆様や地域の各種団体長、神社関係者など大勢の関係各位のご臨席のもとに盛大に行われました。

川尻さんは、神職身分がそれまでの二級から「二級上」の地位にご昇進されたのであります。

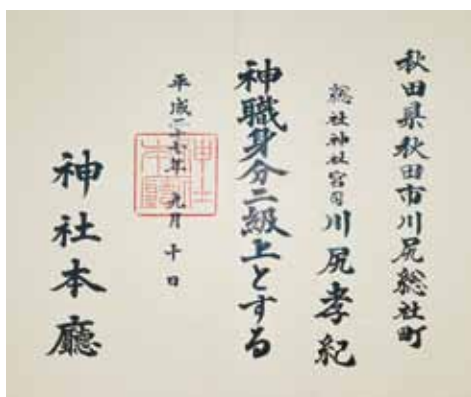
二級上という身分は、神職身分六階級の内の上級三番目の階級であります。

神社庁の資料によりますと、秋田県の中央支部には三十四人の神職がいらつしやいますが、一級が一

人、二級上が二人となっていました。その方々の仲間入りをしたのでありますから如何に高い身分であるかお分かりかと存じます。

今回のご昇進は、これまでの神職として、また宮司としてのお勤めが神社庁に認められてのことであり、皆様と共に衷心よりお祝い申し上げます。誠にめでとうございました。これを契機に総社神社並びに地域が益々のご隆昌・ご発展を遂げますようご祈念申し上げます。

(発起人 代表 上村 敦)



神社本庁辞令

神道の知識 いろいろ

●神宮式年遷宮 について

式年遷宮は
二十年に一度
宮地を改め(東

と西の御敷地を交互に使う)、古例
のままにご社殿やご神宝をはじめ
全てを新しくして、大御神に新しい
神殿にお遷りいただく神宮最大の
重儀です。

式年とは、「定められた年」という
意味で、延喜五年(九〇五)に編纂が
はじめられ延長五年(九二七)に成
立した古代法典『延喜式』によれば、
国家の威信をかけて二十年に一度
全てを新たに造替して新殿に遷す
旨が記されています。

古くは「式月式日」といい遷宮を
行う月日が定まっていました。
内宮は旧暦九月十六日、外宮は内
宮遷宮の二年後の九月十五日とい
ずれも神嘗祭の日に行われ、お遷り
いただいた後に新穀を奉るのが本
来の姿でした。遷宮が「大神嘗祭」
といわれる理由です。つまり神
嘗祭に遷宮の儀が加わった形が
「神宮式年遷宮」となるわけです。

しかしながら、室町時代から戦乱

による影響を受け、遷宮の日が異
なるようになりました。安土・桃山
時代には内宮と外宮に遷宮は同時
に行われ、江戸時代には遷宮の日が
神嘗祭とは別の日に行われ今日に
至っています。

式年遷宮の祭儀は、ご用材を
伐り出すにあたって山の神に
安全を祈る山口祭を皮切りに
木本祭、御杣始祭、御樋代木奉曳式、
鎮地祭、宇治橋渡始式、立柱祭、
上棟祭、檐付祭、葺祭、御白石持行事、
御戸祭、御船代奉納式、洗清、
杵築祭、後鎮祭、御装束神宝誂合、
川原大祓、御飾、遷御、大御饌、奉幣、
古物渡、御神楽などの諸祭行事が行
われます。

これら諸祭のクライマックスが
遷御の儀で、松木の香もかぐわしい
新宮に大御神にお遷りいただく浄
間の秘儀です。衣食住が完全に整っ
た上で大御神の神徳がいよいよ輝
くことを願って、新たな大御光を仰
ぎまつるお祭りです。次回のご遷宮
は平成年号で数えると平成四十五
年にあたります。

お知らせ

★冠婚葬祭はじめ、人生儀礼・建築
儀礼・神事等随時ご奉仕し致し
ます。

★職員人事異動

当神社 欄宜 川尻国広

九月末日埼玉県高麗神社退職。

十月一日より総社神社奉職。

★早朝清掃奉仕

四月より十一月の第二土曜日

午前六時より

★氏子総代計報

前責任役員 伊藤信夫殿

平成二十六年五月十九日逝去

享年八十歳

前氏子総代 佐々木錬治殿

平成二十七年十月二十九日逝去

享年八十二歳

衷心より哀悼の意を表しますと
共に長年のご尽力に感謝の誠を
捧げます。



イラスト揮毫
飯塚洋三画伯

あとがき

かつての香雲亭に想いを馳
せ、前号から試みた文芸欄は、小
学生の俳句や川柳でした。優秀
作が多く審査員を困らせる程で
した。

今号には山王中学校からも応
募して頂き、一層充実した内容
となりました。ご拝読のうえご
鑑賞下されば幸いに存じます。

前号優秀作品一例

総社の木

夏はみんなの

日がさかな

詠人 川尻小五年 岩本 創

総社神社は、現在の千秋公
園に神亀元年(七二四)創祀以
一二九二年の時を刻んで参りま
した。その間幾多の変遷があり
ましたが、常に人心を大事にし、
地域の安泰と発展を祈願して来
られました。

現在行われている年中祭礼行
事は正にその証です。私たち地
域住民はこそつて神社を崇敬し
奉仕していききたいものです。

(編集委員長 上村 敦記)